

地域・学校協議会の活動推進キャッチフレーズ

南越前町立今庄小学校

1 取り組みの概要

(1) 地域や家庭と学校の連携実績

項目	回数
地域・学校協議会	2回
中学校区を単位とした協議会	1回
地域及び家庭への学校公開	6回(のべ)6日

(2) 地域人材の活用(のべ人数)

講師・ゲストティーチャー	8人
授業ボランティア(含:低ボラ)	18人
登下校支援ボランティア	10人
その他(学校環境ボランティア)	11人

(3) 特色ある活動

テーマ「ふるさと今庄の良さを感じよう」

本校のある今庄地区は、旧北国街道とともに発展してきた歴史のある地域である。また、山や川など自然に囲まれた静かな山間地区でもある。本校では、自然・文化に恵まれたふるさと今庄に親しみをもち、大事にしていこうとする豊かな心を持った児童を育てていきたいと考え、地域の協力を得ながら様々な教育活動に取り組んでいる。

「旧街道の町並み写生大会」

子どもたちが自分の住む町を描くことで、自分の目や記憶にふるさとを印象づけてほしい、自分の町が好きになって町や家族を大切にする気持ち、ふるさとへの愛情と誇りを持ってほしいという願いから、NPO法人今庄旅籠塾(今庄の町並み保存の活動をする団体)と学校が連携して、町並み写生大会を開いた。夏休みの一日、5・6年の子どもたちが、昔の面影が残る酒屋・民家・商家・記念館、そして旧街道を写生した。

この日は、今庄旅籠塾の会員や福井県文化課の職員も参加し子どもたちの写生画にアドバイスをしたり、町並みの写真を撮ったりして、写生大会の運営に協力してくださった。

子どもたちは、民家の軒先で写生をしていたので、絵の具の水を借りたり、トイレを使わせてもらったり、地区の住民とも交流することができた。

子どもたちの描いた絵は、9月18日に行われた今庄街道浪漫のイベント会場に展示され、今庄地区の人のもとより、多くの観光客の方にも見ていただくことができた。また、優秀作品の表彰式も行われ、多くの子どもたちが今庄街道浪漫の会場に来ていた。



成果と課題

子どもたちは、普段見過ごしてしまいがちな町並みを写生することで、ふるさとの歴史や文化のすばらしさを改めて実感することができた。この取り組みを地域の人たちが温かく見守り、応援してくださったことも、子どもたちが今庄の良さを感じる一因になったように思う。

本校は5年前、新校舎建設に伴い市街地から離れた場所に移転したため、地域の人や町と関わる機会が少なくなりました。今回は5・6年生の取り組みになったが、子どもたちが、ふるさとに親しみをもち、そのよさを感じられるようにするため、全校あげてのふるさと学習の内容や学習の進め方を再吟味する必要がある。